

2018年1月8日(月) 四国

## 中小後継者の資質とは

光建設 元社長 引き継ぎハウツー本刊行

光建設（現ヒカリ、本社・丸亀市）の元社長、津島晃一さん(62)が、中小企業経営の引き継ぎの在り方をまとめた「お金をかけない事業承継—かわい後継者には“個人保証”を継がせろ—」を出版した。金融機関から融資を受ける際に経営者

が連帯保証人となった個人保証を円滑に引き継げる後継者を育成することが重要だと提案している。

津島さんは、旧松下電工（現パナソニック）を経て、1981年に光建設の取締役就任。88年に副社長、90年に社長、2008



津島晃一著「お金をかけない事業承継」

年に会長に就いた。12年に神戸大大学院で経営学

修士（MBA）を取得した後、会長を退任。今年3月には嘉悦大大学院で博士号を取得した。

本書は、事業承継の際に借入金を削減すべきという考え方は会社の成長を阻害してしまうと指摘。個人保証は危険で恐ろしい制度と思われがちだが、中小企業経営には不可欠で、経営のトップに立つ覚悟を形成するなど後継者育成に有用性が

あると強調する。

個人保証を生かした事業承継について、子会社を活用して後継者に資金繰りを経験させ、円滑な社長交代を実現した自身の体験を紹介。連帯保証人になることを役員にあらかじめ承諾させておくルール作りを行った長野県の会社の事例なども取り上げている。

同友館刊。四六判、248頁。1600円（税別）。